

# 令和6年度 学校自己評価システムシート ( 県立常盤高等学校 ) s 36

目指す学校像	豊かな人間性、確かな知識・技術を兼ね備えた看護のスペシャリストの養成
--------	------------------------------------

重点目標	<ol style="list-style-type: none"> <li>主体的な学びを促進する魅力ある授業を追求し、授業改善を推進することで、学力の一層の向上を図る。</li> <li>教職員一丸で社会の変化に対応できる教育活動を実践することで、心身ともにたくましく規律ある生徒を育成する。</li> <li>看護職への自覚を高めるとともに、看護師としての職業観・倫理観を育成するキャリア教育を推進する。</li> <li>地域・保護者・関係機関との連携強化と効果的な情報発信により、愛され信頼される学校づくりを推進する。</li> </ol>
------	---

※ 重点目標は3つ以上の設定も可。重点目標に対応した評価項目(年度達成目標を意味する。)は複数設定可。  
 ※ 番号欄は重点目標の番号と対応させる。評価項目に対応した「具体的方策、方策の評価指標」を設定。

達成度	A	ほぼ達成(8割以上)
	B	概ね達成(6割以上)
	C	変化の兆し(4割以上)
	D	不十分(4割未満)

※学校関係者評価実施日とは、最終回の学校評価懇話会を開催し、学校自己評価を踏まえて評価を受けた日とする。

出席者	学校関係者	6名
	生徒	3名
	事務局(教職員)	14名

学 校 自 己 評 価								学 校 関 係 者 評 価		
年 度 目 標				年 度 評 価 ( 2 月 1 日 現 在 )				実 施 日 令 和 年 月 日		
番号	現状と課題	評価項目	具体的方策	方策の評価指標	評価項目の達成状況	達成度	次年度への課題と改善策	学校関係者からの意見・要望・評価等		
1	<p>(現状) 新学習指導要領の全面実施、さらにタブレット端末の導入が2年目となる。ICT機器を効果的に活用した授業改善は引き続き努めていく必要がある。</p> <p>(課題) ICT機器の効果的な活用と主体的・対話的で深い学びに向けた授業改善を進め、生徒の基礎学力の定着に繋げたい。そのためには一人一人の生活を自身が振り返り、自主的な修正改善に向かう姿勢を育てる必要がある。</p>	○育てたい看護師像に向けた学力定着と看護技術向上を図る。	<ol style="list-style-type: none"> <li>①授業及び実習計画の精選を行い、ICTの活用と応用及び校内実習プログラムの構築の工夫、充実を行う。</li> <li>②ICT機器の活用等や教員研修(対面・オンライン等)により授業力の向上を行う。</li> <li>③生活実態アンケートの実施(年1回実施)</li> </ol>	<ol style="list-style-type: none"> <li>①各教科・科目の授業で、シラバスや目標に近づく授業実践ができたか。</li> <li>②校内ICT活用研修会の実施により、授業改善に実践に生かすことができたか。</li> <li>②生活実態アンケートにより、生徒自身が生活を振り返り、自己改善に向かうことができたか。</li> <li>③生徒の授業に向かう意欲態度の向上や学びに向かう態度の向上がみられたか。</li> <li>③アンケート項目を精査し、効果的な内容につながったか。</li> </ol>						
2	<p>(現状) 生徒の多くは基本的な生活習慣が確立しており、落ち着いた学校生活を送っている。その一方で教育相談等、支援を必要とする生徒もみられる。</p> <p>(課題) 日頃から生徒に応じたきめ細やかな指導を進めているが、保護者と連携し積極的な心のケアに取り組む必要がある。看護師としての資質と「自立と自律」を促す指導の工夫が必要である。</p>	○看護師として求められる資質と社会性を育成するための教育支援を実施する。	<ol style="list-style-type: none"> <li>①生徒の不安を取り除き、主体的な活動に繋がれたか。</li> <li>②外部の専門職との連携や計画的・継続的な指導により、生徒の生活状況や学校生活の満足度は向上したか。</li> <li>③感染症への適切な措置を講じながら、学校行事を通じて学校生活の充実と向上を図ることができたか。</li> <li>④生活実態アンケート及び保護者アンケートの実施(年1回実施)</li> </ol>	<ol style="list-style-type: none"> <li>①生徒が安心して学校生活を送っていると回答した生徒・保護者が80%以上いたか。</li> <li>②外部との連携や学習指導を通じて、看護師としての資質向上に繋がれたか。</li> <li>③学校行事や部活動を通じて、学校生活の充実と連帯感を深められたか。</li> <li>④アンケート項目を精査し、効果的な内容につながったか。</li> </ol>						
3	<p>(現状) 看護師国家試験の合格率は高い水準を保っている。日頃から個に応じた指導を行っており、卒業後の進路選択も多様化しつつある。</p> <p>(課題) 看護師国家試験の合格を達成するため、引き続き丁寧な指導を実践することが必要である。また、多様な進路選択や資格取得や経験以外にも新たなスキルが必要なことに気づき、主体的なキャリアアップに繋がる支援をする必要がある。</p>	○目指す看護師像の追求及び看護師国家試験合格を目指す。	<ol style="list-style-type: none"> <li>①進路の手引きを活用しながら、低学年から進路情報を提供する。</li> <li>②キャリアプロジェクトにてポートフォリオを作成し、「なりたい看護師像」の自己形成を支援する。</li> <li>③病院説明会や進路講話、修了生懇談会等を行い、生徒の幅広い進路選択の一助とさせる。</li> <li>④看護専攻科及び進路指導部と学年が連携し、看護師国家試験対策及び進学対策を組織的に行う。</li> </ol>	<ol style="list-style-type: none"> <li>①効果的な進路行事を提供し、生徒及び保護者の理解を深めることができたか。</li> <li>②各自がキャリアポートフォリオを作成し、納得いくものになったか。</li> <li>③生徒のキャリアアップに繋がられる情報が提供することができたか。</li> <li>④高い看護師国家試験合格率を達成できたか。</li> <li>④進学希望者の進学実現を達成できたか。</li> </ol>						
4	<p>(現状) 連携病院や大学並びに保護者の協力により、専門性の高い教育活動が推進されている。県内各地から、看護師を目指す生徒が入学している(R6入試1.14倍 R5入試1.03倍)。</p> <p>(課題) 医療機関及び大学、地域や保護者と連携し、よりよい情報交換を行うことで課題を発見し、教育活動を改善することが必要である。また、その機会を活用して生徒の社会性の育成に繋げたい。学校説明会等では、本校理解のための工夫改善を行う必要がある。</p>	○情報機器等の活用や学校説明会等において本校理解のための工夫改善を行い、保護者・地域・関係機関との連携強化を促進させる。	<ol style="list-style-type: none"> <li>①学校説明会における内容の見直しと工夫を行う。</li> <li>①外部向けイベント(彩の国進学フェア、産業教育フェア等)への積極的参加により、本校の魅力を発信する。</li> <li>②客観的評価や課題解決のため保護者アンケートを行う。</li> <li>③学校ホームページ(常盤ブログ等)更新や一斉メールの活用により、保護者への情報発信頻度を高める。</li> </ol>	<ol style="list-style-type: none"> <li>①生徒からの情報発信を効果的に取入れ、組織として生徒募集用務を実施したか。</li> <li>①学校説明会・体験入学の参加者が昨年度よりも増加し、志願者数は増加したか。</li> <li>②本校の現状と課題を把握し、改善策を考察することができたか。(保護者アンケート結果分析)</li> <li>③学校ホームページのアクセス数は増加したか。学校説明会参加者の意見集約が行えたか。</li> <li>③保護者の学校理解を深めることができたか。(保護者アンケート肯定的意見80%以上)</li> </ol>						